

全有協の活動も今年で5年目となりました。7月の総会では役員任期満了改選に伴い、前号でお知らせしました役員(理事29名、監事2名)を選出し、新体制として理事長 金子美登と副理事長 大和田世志人を中心に日本の有機農業の普及推進に努めてまいります。今後とも何卒よろしくお願ひ申し上げます。

ごあいさつ

特定非営利活動法人  
全国有機農業推進協議会

副理事長 大和田 世志人



暑い暑い夏がいつまで続くのだろうかと思っていたが、やっぱり、確実に、遅ればせながらも秋がやってきた。周りの田んぼ一面が黄金色に染まり、秋風に揺れる様を見ると、こころなしかほっとする。今秋は大きな台風の襲来もなく、安堵の収穫の秋となりそうだったが、夏場の異常高温による米の品質低下、さらには米価の大幅な下落と、心休まる秋にはほど遠い現実だ。これでは米作りに意欲をなくする人々が一段と多くなるだろう。来年は耕作放棄地がさらに増えることになるだろう。

今、日本の農業、農村は急速な高齢化に見舞われている。ご承知のとおり、食糧生産の大半を65歳以上の高齢者に頼っているのが現実だ。彼らがいつまで生産を持続していけるだろうか。

最近、TPPの議論が大きくクローズアップされているが、今日の農業、農村の実態がどこまで理解されているのだろうか。工業製品を輸出して、食料は海外からやすいものを輸入すればいいではないか、という論調のようだが、最近の中国のレアアース禁輸という厳しい現実から何も学ばないのか。基本的食料を輸入に頼っていると、ひとたび事が起きると輸入がストップする危険性があるということを思い知らされたばかりではないのか。

今、中国ではニンニクの価格高騰が続いているという。いや、ニンニクだけではなくショウガもそうらしい。なぜか。どうやら投機の対象になり、一部の人々に買い占められているからという。こうなってくると、果たして今後、海外からの安い食料に頼って、日本の農業をつぶすという選択、TPPへの参加はどのようなことになっていくのだろうか。政府も国民も冷静に、現実と将来を見つめて賢明なる判断をしていただきたいものだ。

今、農村に目を向けると、ほんのわずかではあるが、若い人々の姿が散見される。有機農業推進法ができて4年になろうとしているが、若い人たちが農業に関心を持ち、農的暮らしを希求し、有機的生活を望む人たちが行動を開始しているように見える。地域を歩いてみると、そのような姿をたびたび目の当たりにする。ひょっとすると、全国各地で小さなうねりが立ち始め、おおきな地殻変動へと結びついていこうとしているのかもしれない。

全有協は、全国各地の小さなうねりをつないでいく役割を担っていると思うが、私も微力ながらその一端を担えたら、と願っている。

大和田

## 全有協主催、共催の行事報告

### ◎『北海道有機農業フェスティバル』

8月20日(金)、9月4日(土)・5日(日)

全道の有機農産物生産者が初めて札幌に集合、対面販売を通じて札幌市民と交流

於：札幌大通公園5丁目 特設会場ほか

○共催：北海道、北海道有機農業フェスティバル実行委員会、全有協、技術会議

#### \*8月20日(金)

事前イベントとして映画「未来の食卓」上映会

- ・道内6か所(札幌市、江別市、旭川市、帯広市、函館市、せたな町)で延べ280名の参加。

#### \*9月4日(土)、5日(日)

「北海道有機農業フェスティバル」

於：札幌市大通公園

- ・ステージイベント：「有機クイズ大会」「出店こだわりレシピ」「農民オーケストラ」「子せがれネットワークー言わせろ、3K」

- ・2日間で合計  
32,000人の来場者



生産者を中心に34ブースが登場

### ◎『土と平和の祭典』10月17日(日)

毎年この時期に日比谷公園全体を使って開かれる日本最大級の環境配慮型農業&農的暮らしの催し

於：東京日比谷公園

○主催：種まき大作戦実行委員会

○共催：全有協

#### プログラム

- ・ファーマーズマーケット、ライブステージ、ワークショップ、シンポジウム等
- ・全有協主催イベントとして小音楽堂にて「土と平和の有機農業セミナー」、有機農業なんでも相談を開催。金子理事長をはじめ理事多数が参加

- ・来場者総数  
47,000人
- ・出店ブース  
150店



晴天の下、150名を超える参加者がセミナーに参加

### ◎『ゆうきひろがる全有協中国地域集会』

10月18日(月)・19日(火)

中国地域(山口、島根、広島、岡山、鳥取)で、県と組織を超えて初めて有機農業関係者が消費者との共に集まるものとなった

於：広島県文化センター

○主催：全有協、「ゆうきひろがる全有協中国集会」実行委員会

#### \*10月18日(月)

- ・ドキュメンタリー映画『未来を見つめる農場』
- ・基調講演①安部司  
「食品の裏側」食品の本当の豊かさとは？」
- ・基調講演②金子美登  
「有機農業の人づくり、地域づくり」
- ・懇親会：有機食材使用の交流会

#### \*10月19日(火)

- ・ドキュメンタリー映画『田んぼ』上映
- ・講演①細川正明  
「自然農法で健康な人づくり、まちづくり」
- ・講演②室本けい子「食養生にこだわって」
- ・講演③岸田芳朗  
「地域主導による有機農業の展開と暮らしの再生」
- ・総括講演 徳野貞雄「生活農業論からみた有機農業」
- \*参加者：18日 250人、19日 100人  
(18日 懇親会 100人)
- ・参加者県別内訳

広島 165

島根：50

山口/岡山/他：32

スタッフ等 30人



会場の様子や資料はウェブでも公開中

### ◎消費者の部屋『有機農業の目指す世界2010』

11月1~5日(除く3日)

4回目となる今年も日有研、技術会議、全有協の3団体が協力し、農水省と協働する形で開催された。

於：農水省 消費者の部屋(北別館1F)

#### プログラム

- ・有機農業の展示
- ・お話し会、試食
- ・来場者総数  
600人



地域の有機農業の取り組みを展示

**有機農業推進  
議員連盟  
2010年度名簿**  
(敬称略、名簿順)

会長

山田 正彦 (衆/民)

副会長

宮腰 光寛 (衆/自)

副会長

渡辺 孝男 (参/公)

事務局長

カネ マルイ (参/民)

事務局次長

水落 敏栄 (参/自)

顧問

羽田 孜 (衆/民)

幹事

吉泉 秀男 (衆/社)

篠原 孝 (衆/民)

西 博義 (衆/公)

大村 秀章 (衆/自)

柿澤 未途 (衆/み)

谷 博之 (参/民)

紙 智子 (参/共)

室井 邦彦 (参/民)

亀井亜紀子 (参/国)

民主党	107	名
自民党	34	名
公明党	8	名
社民党	5	名
国民新党	3	名
みんな	3	名
共産党	2	名
国益	1	名
新党大地	1	名
無所属	2	名
合計	166	名

衆議院

松本 純 (自)  
末松 義規 (民)  
和嶋 未希 (民)  
後藤田正純 (自)  
相原 史乃 (民)  
松崎 公昭 (民)  
古賀 一成 (民)  
松浪 健太 (自)  
吉田 公一 (民)  
太田 和美 (民)

田名部匡代 (民)  
平野 博文 (民)  
長勢 甚遠 (自)  
あべ 俊子 (自)  
金森 正 (民)  
初鹿 明博 (民)  
重野 安正 (社)  
中島 隆利 (社)  
西村 康稔 (自)  
櫛淵 万里 (民)

小原 舞 (民)  
玉木雄一郎 (民)  
鈴木 克昌 (民)  
加藤 学 (民)  
矢崎 公二 (民)  
小里 泰弘 (自)  
谷田川 元 (民)  
玄葉光一郎 (民)  
神山 洋介 (民)  
田村 憲久 (自)

下地 幹郎 (国)  
勝又恒一郎 (民)  
大西 健介 (民)  
京野 公子 (民)  
中野渡詔子 (民)  
中川 秀直 (自)  
牧野 聖修 (民)  
笹木 竜三 (民)  
首藤 信彦 (民)  
亀井 静香 (国)

平井たくや (自)  
塩崎 恭久 (自)  
早川久美子 (民)  
奥野総一郎 (民)  
石田 三示 (民)  
浅野 貴博 (大地)  
石川 知裕 (無)  
奥田 建 (民)  
近藤 和也 (民)  
田島 要 (民)

玉城デニー (民)  
森本 和義 (民)  
糸川 正晃 (民)  
谷垣 禎一 (自)  
鉢呂 吉雄 (民)  
下条 みつ (民)  
森山 浩行 (民)  
鳩山 邦夫 (無)  
西野あきら (自)  
河村 建夫 (自)

本村賢太郎 (民)  
梶原 康弘 (民)  
大口 善徳 (公)  
福島 伸享 (民)  
高野 守 (民)  
柳田 和己 (民)  
高木 義明 (民)  
川内 博史 (民)  
藤田 大助 (民)  
金子 恭之 (自)

佐々木隆博 (民)  
田中けいしゅう (民)  
高木美智代 (公)  
服部 良一 (社)  
筒井 信隆 (民)  
横光 克彦 (民)  
郡 和子 (民)  
稲見 哲男 (民)  
神風 英男 (民)  
山口 壯 (民)

高橋 英行 (民)  
仁木 博文 (民)  
渡辺 喜美 (み)  
城内 実 (国益)  
坂本 哲志 (自)  
山本 公一 (自)  
北村 誠吾 (自)  
網屋 信介 (民)  
石山 敬貴 (民)  
黒岩 宇洋 (民)

中根 康浩 (民)  
吉田 泉 (民)  
谷 公一 (自)  
田村 謙治 (民)  
近藤 洋介 (民)  
高橋千鶴子 (共)  
高橋 昭一 (民)  
坂口 直人 (民)  
長島 忠美 (自)  
室井 秀子 (民)

大西 孝典 (民)  
川越 孝洋 (民)  
三日月大造 (民)  
古川 元久 (民)  
皆吉 稻生 (民)  
山崎 誠 (民)  
川村秀三郎 (民)  
石田 祝稔 (公)  
中川 治 (民)  
小室 寿明 (民)

宮崎 岳志 (民)  
中塚 一宏 (民)  
今村 雅弘 (自)  
竹本 直一 (自)  
武内 則男 (民)  
横山 信一 (公)  
岡崎トミ子 (民)  
大河原雅子 (民)  
金子 恵美 (民)  
広田 一 (民)

参議院

桜井 充 (民)  
舟山 康江 (民)  
小川 敏夫 (民)  
徳永 エリ (民)  
一川 保夫 (民)  
小熊 慎司 (み)  
前田 武志 (民)  
松野 信夫 (民)  
橋本 聖子 (自)  
森 ゆうこ (民)

福山 哲郎 (民)  
山田 俊男 (自)  
羽田雄一郎 (民)  
中川 雅治 (自)  
末松 信介 (自)  
又市 征治 (社)  
郡司 彰 (民)  
二之湯 智 (自)  
谷合 正明 (公)  
横峯 良郎 (民)

金子 洋一 (民)  
山本 順三 (自)  
林 久美子 (民)  
加賀谷 健 (民)  
川上 義博 (民)  
岸 信夫 (自)  
西田 昌司 (自)  
藤谷 光信 (民)  
加藤 修一 (公)  
小坂 憲次 (自)  
小川 勝也 (民)

## 全有協主催、共催の行事案内

### ◎「はじめる！有機 ゆうきフェスタ 2010」

11月21日(日) 10:00~16:00

於：熊本県立大学

- 主催：熊本県有機農業研究会「ゆうきフェスタ実行委員会」
- 共催：くまもと有機農業ネットワーク、全有協
- 助成：農水省有機農業普及啓発事業

#### ◎プログラム

- 対面販売(テント屋外)
  - シンポジウム-家庭菜園(有機栽培)入門講座  
「からだが好き野菜の作り方-家庭菜園からの循環型社会論」討論  
(金子理事長、大和田副理事長等出演)
  - かるべけい子さん親子料理教室
  - 吹角隆之氏講演会「私たちの健康と化学物質」
  - 東田トモヒロさんコンサート、アマチュアバンド・クイズ等々
  - その他プログラム
    - ・ロアソフ講話&リフティング等ボールゲーム
    - ・映画「いのち耕す人々」「ミツバチの羽音と地球の回転」
    - ・食農育部会こんにやく作り体験講座、ワークショップなど
- 詳細問い合わせ先：熊本県有機農業研究会  
TEL：096-223-6771 FAX：096-223-6772

### ◎「有機農業関東集会」

12月11日(土) 13:45~12日(日) 16:00

於：熊谷市立文化センター文化会館

- 主催：有機農業関東集会実行委員会
- 共催：日本有機農業研究会、有機農業技術会議、全国有機農業推進協議会
- 協力：霜里農場・民間稲作研究所、古代米浦部農園、さんぶ野菜ネットワーク、秀明自然農法ネットワーク、山田農園、やさと有機農業協議会

#### ◎プログラム(11日) (参加費1000円)

- 講演1：魚住 道郎(日本有機農業研究会)  
「ネオニコチノイド問題と農業者の責務」
  - 講演2：青山 美子(青山内科小児科医院)  
「ネオニコチノイド系農薬の危険な実態」
  - 分科会：有機栽培技術、後継者・地域づくり、有機農業政策  
12日：(見学会費用：3500円)
  - 分科会報告および総合討論、現地見学会(霜里農場、とうふ工房わたなべ、中村農園)
- 詳細問い合わせ先：霜里農場 TEL/FAX：0493-73-0758

## 発行・発売のお知らせ 『全国の北から南まで 地域にひろがる有機農業』



2010年10月1日 発行  
編 全国有機農業推進協議会

国の政策としてのモデルタウンは無くなりましたが、全国で有機農業を進める活動は着実に前進しています。本書では、これまでは点としてあった有機農業関係者が面としての広がりを持って、各地域の拠点として創意工夫しながら活発に活動している様子を“自己紹介”しています。

各地の有機農業関係団体の情報を共有したい人、新たに有機農業に参入を希望する人、有機農産物の購入を希望する人たちに必須の情報を提供してくれます。

ご購入申し込みは全有協までTel、Faxにて  
または全有協ウェブサイトから  
定価1冊500円(送料1部80円)

掲載されているのは以下43団体です。

津別町有機農業推進協議会、北海道の有機農業をすすめる会、大潟村有機農業推進協議会、一関地方有機農業推進協議会、庄内協同ファーム、東北有機農業推進協議会、いなほ新潟、農研機構東北農業研究センター、福島県有機農業ネットワーク、ヴィライナワシロ、喜多方市環境にやさしい農業推進協議会、茂木ゆうきの里づくり協議会、日本の稲作を守る会、やさと有機農業協議会、なめがた有機農業推進協議会、小川町有機農業推進協議会、生活工房つばさ・游、山武市有機農業推進協議会、おかげさま農場、アファス認証センター、大地を守る会、パルスシステム生活協同組合連合会、マルタ、自然農法国際研究開発センター、MOA自然農法文化事業団、白川町有機の里づくり協議会、オアシス21エコファーマーズ朝市村、秀明自然農法ネットワーク、越の国有機農業生産者の会、宇陀市有機農業推進協議会、「はたんぼ」兵庫県有機農業研究会、総社市有機農業推進協議会、広島県有機農業研究会、食と農・広島県協議会、吉賀町有機農業推進協議会、木頭柚子有機農業推進協議会、徳島有機農業推進協議会、今治市有機農業推進協議会、南島原市有機農業推進協議会、長有研、さいたえん高原園芸研究所、熊本県有機農業研究会、かごしま有機農業推進協議会

発行人 金子美登 (発行元 特定非営利活動法人 全国有機農業推進協議会)

住所：〒158-0081 東京都世田谷区新町1-6-7 コートロワール202

電話：03-5799-6177 FAX：03-5799-6302

Email：info@zenyukyo.or.jp

公式サイト：<http://www.zenyukyo.or.jp>

事業サイト：<http://www.yuki-hirogaru.net>

[入会・継続をお願いします] (入会金不要、年会費1口 個人会員1万円、団体会員5万円、賛助会員3千円より)

口座：ゆうちょ銀行振替口座(支店コード：019店) 00180-7-687517 (当座)

名義：特定非営利活動法人 全国有機農業推進協議会

通信欄に「全有協会費(個人・団体)(口数)、お名前、ご連絡先、ご所属等」をお書きください。